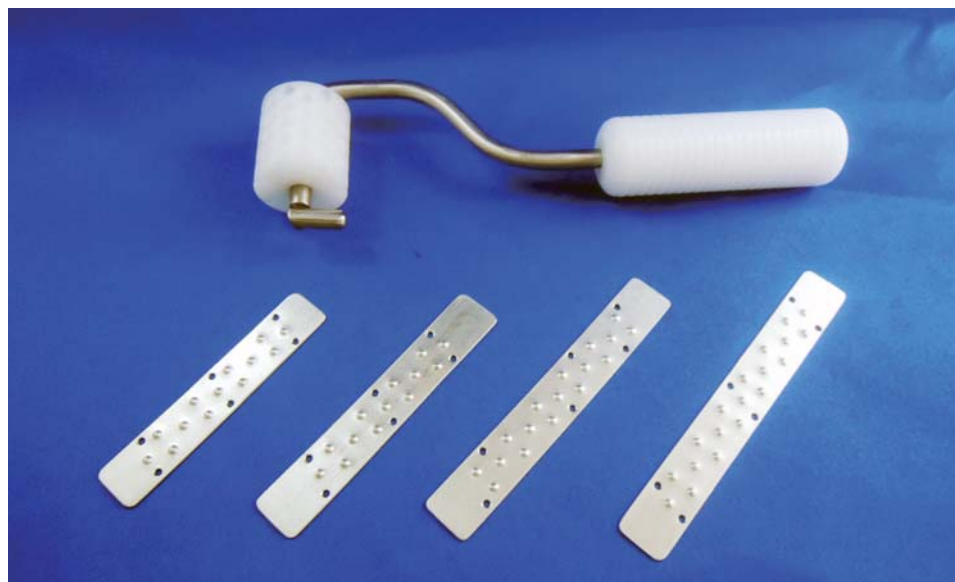


衣料から医療へ
新発想の開創器を開発企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット

心臓手術用開創器「フレックスバンダー」

主な事業内容

女性用下着などの金具の製造・販売、
同金具技術を生かした医療器具の製品開発

主な取引先(納入先)

インナーウェアなど衣料縫製
メーカー、医療機器商社

主な製品

下着のワイヤ、アジャスト、ボーン、
フックアイ、手術用の開創器

業務
内容

大手女性下着メーカー
との取引拡大で成長

「オーゼットケー」は創業以来70年にわたる女性用下着などの服装部品メーカーだ。昭和28年に大手女性下着メーカーとの取引を機に、女性用下着に使用するブラジャー用ワイヤや留め具、アジャスト金具、コルセットの芯材など400種類にわたる多種多様な部材を供給し続け、売上げの約70%を占めている。3代目の山崎陽彦社長は、長年培った経験や技術を生かし、新たな事業の柱を確立するため医療事業に着目。平成28年に医療機器製造業に登録した。手術部位の組織を広げる時に使う新発想の開創器を医工連携で平成30年に製品化し、医療現場での普及を目指す。

強み
多様な素材を用いた
巻き線技術などで高評価

アルミやステンレス、樹脂など多種多様な素材を用いて顧客のニーズに柔軟に対応。女性用下着部品で長年培った表面処理、縫製などのコア技術をベースに、左右に巻いた二つのパネを組み合わせた特殊な巻き線技術で独自の各金属製ボーンを手がける。樹脂ボーンはランドセルやサポーターの芯材に

社長あいさつ



代表取締役
山崎 陽彦さん

戦前から培った服装金具製作の経験と技術を生かし、お客様にご満足いただける高機能、高品質なもののづくりを続けてきました。これを新規事業の医療分野に役立てたい。今後もお客さまが「安心・喜び・満足」を感じられるように、ものづくり企業として役目を果たしていきます。

主な保有設備

- スパイラルボーン製造機
- スパイラルリトラクター自動機
- フックアイ縫製用マシン
- ナイロンコーティング機
- 射出成形機
- フォーミングマシン



住 所／〒581-0091
八尾市
南植松町4-23-1

T E L／072-991-3671

F A X／072-992-2854

創 業／昭和21年 8 月

設 立／昭和26年11月

資本金／3,500万円

従業員／35名



手術用開創器「スパイラルリトラクター」



ブラジャーなどに使用するアジャスト金具



ブラジャーなどインナーウェアに使用する部材

も採用されている。その中で伸縮自在のボーン、ワイヤ開発、加工技術を開発させ、医療機器第一弾となる乳がん手術用の開創器「スパイラルリトラクター」を開発。医療従事者と患者の負担を軽減するといった点で高い評価を受け、関東経済産業局の「MEDICAL TAKUMI JAPAN」や近畿経済産業局の「関西ものづくり新撰2019」に選定されている。

医療
産学連携で医療分野の
売上高比率30%へ

同社の医療分野の進出は大阪商工会議所や大阪市立大学などが提供する医療機関との出会いの場がきっかけ。乳がん手術用開創器を開発後、より小さい部位を固定する心臓手術用「フレックスバンダー」も開発。これらの製品はループ状に曲げて人体に入れ、執刀医が自ら動かすことができ、従来品に比べ迅速な手術が可能。一般医療機器(クラスⅠ)でリユースができ、大阪市立大学病院などで先行採用されている。救命救急センターなどで行われる幅広い手術で需要が見込まれ、認知度向上とともに3年後の医療器具の売上高目標は「全体の30%を目指す」と山崎社長は語る。